今和 2年度

車数車器部馬車 (今和 0年度 の事績部体) 記入年月日

	DAN O	十叉						争扬争朱叶仙仪(13 AU ~	+/又	の大順計画/	令	和 3 年	4 月 20 E	\exists
	事務事	サク		補助金	~华t全計	+未吕4	~温兴=	= ₩			事業区分			担当	
	争协争:	未包		細切立	7寸代点	J 女貝 Z	连占	→未			新規/継続	継続	事務事業No.	060501000060)
					政策体	系上の		2 1 2			単独/補助	単独	所属課	020201	
政	総合記	十画のカ	拖策名		0605			政運営の推進						財政課	
策		政策名		0				台のまちづくり					課長名		
体		施策名		0				の推進					グループ	財政G	
系		手段名		0				運営の推進					担当者名		
				財務会計上の位置付け						事業期間					
콧	自科員	会計	款	項		事業	細	一般会計			単年度繰返し		成19 年度~		
		01	02	01	05	01	00	財政管理事業			□→ 期間限®	定の場合、総	投入量を(3))投入量の右側に記え	(
法	令根拠	桜川市	補助金	会等検討	寸委員会	会設置要	更綱 -			,					

1. 事務事業の現状把握(その1)

(1)事務事業の概要

①事務事業の概要(事務事業の全体像)

市が単独で支出している補助金等について、補助金検討委員会委員を設置して 検討を行う

(金) 公司 (金) 公正性、公平性があるか、③根拠があるか、④目のが適正であり、適法に使われているか等について調査、検討を行い、効果的な交付を実施するための提言を行う。

- 3年に1回実施する。

 - 1. 補助金審査表、実績報告書の調査検討の実施 2. 補助金検討委員による担当課ヒアリングの実施
 - 3. 補助金等に関する提言

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

・補助金検討委員の選出、委嘱書の作成、補助金一覧表の作成、補助金 審査表の提出依頼を各課に依頼、補助金審査表・実績報告書の整理、補助金検討委員会の資料作成、補助金検討委員会の会議録作成、補助金検 討委員の提言案の作成

※補助金等検討委員会は3年に1回を目途に開催。 平成19年度、平成22年度、平成25年度、平成28年度、令和元年度 に実施。

次回は令和4年度に実施予定。

	比価はの状数	,							
(2)事務事業の手段・対象・意図と各指標 ①手段 (担当者の活動内容)		, (活動量を表す指標)	単位・	O1年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度	O4年度 (目標)	05年度 (目標)	
	委員会開催数			6.00	0.00	0.00	6.00	0.00	
委員選出・委嘱、審査対象補助金の抽出、	市補助金対象	事業数	件	19.00	0.00	0.00	20.00	0.00	
審査会の運営等				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (単位	O1年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	O4年度 (目標)	05年度 (目標)		
	市補助金対象	事業数	件	19.00	0.00	0.00	20.00	0.00	
市単独補助金対象事業				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標	単位	O1年度 (実績)	O2年度 (実績)	03年度 (計画)	O4年度 (目標)	05年度 (目標)		
補助金の必要性や効果等について調査、検	削減額		千円	155.00	0.00	0.00	500.00	0.00	
討を行い、 妥当性・公平性を確保し、市補助金額の削			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
減を図る			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
(3) 投入量(事業費)の推移 ―	01年度 (実績)	03年度 (計画)					間限定 没入量		
国庫支出金 千円	(C) (C) (C) (C) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T) (T	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	人00.0	0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0 0 0 0	
O2年度事業費 実	3績(千円)			03年度事業費			· 予算(千円)		
事業費の内訳									
	合 計	0				合	<u>it</u>	0	

第 は 活びついている 補助金を審査することにより補助金交付の妥当性・公正性が確保される。							四十6人以 こ 口 口 口 八 女 ア ノ	
中級17年に古所し紀明市が建生したが、市が安付する補助金については日明村より引達した安付書かられている。	事	務事業名	補助金等検討委員会	会運営事業	事務事業No.	60501000060	所属課	財政課
中級に担害、移動会計が委員会を表記し、影響を記しておっている。								
また、平成2万年までは、前年度比2164千円の対象と、中心2万年では、前年度比2561千円の対象とでなった。予以下表にあいては、前年度比25164円の対象となった。では、10年7年末に対して関係者(任民、基金、事業年後、利益を対象と対した。大きないためである。 (5) この野野事能に対して関係者(任民、基金、事業年後、利益を関係) からとんとが最早を登れている。						ご交付基準により交付され	れていた。	
というこの「新知年集に対して関係語(任意、論会、事業対策者、利害関係者)からどんな基質や環境が含むっているから、 (5) この事類主義に対して関係語(任意、論会、事業対策者、利害関係者)からどんな基質や環境が含むているから、 (5) この事類主義に対して関係語(任意、論会、事業対策者、利害関係者)からどんな基質や環境が含むているから、 (5) できまず、現代が関の機能が関係のために集功するものであるから、論会、任義からもいに参考、要認識ない。しかし、単成が必要という意見が認めらいた。 (5) できまず、関係ののでは、各種助金とないの実験の関係を重要のないの意味が加速を集めるよう会中が伝された。 (5) できまず、関係のでは、各種助金とないの実験の関係を重要のないよう会中が伝された。 (5) できまず、関係のでは、各種助金とないの実験の関係を重要のないよう会中が伝された。 (6) できまず、関係のでは、各種助金とないのでは、自然があるようなのが関係といいでは、 (6) できまず、関連しませて、 (6) できまず、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本の						一口心试验 亚代八〇午午	かん がたみじょく	に 4 千田 の 運転
(5) この事務事業に利して関係者(住民、議会、事業報金名、利富関係者)からどんな意思や要型が寄せられているか? **本事は、独作機体の配合的に対してので、実践するものであるため、結果に対しられば思い、要とはない。しかし、中原之2年間に実施した特別委員会製作がは、特別の担保を表した。とは他立とくの場所の関係を表しならうと中がなられた。 ***のと7年末、日本の日本で、日本の出ることの場所の関係を表しならから、対して中海でもれた。 ***のと7年末、日本の日本で、日本の日本で、日本の日本で、日本の日本では、中のと7年末、日本の日本で、日本の日本の日本で、日本の日本の日本で、日本の日本で、日本の日本の日本で、日本の日本の日本で、日本の日本の日本で、日本の日本の日本で、日本の日本で、日本の日本で、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日								
本本業は、執行機能の過程を設成のために実施するものであるため、菌素、性がらそに思想、理念はない、しかし、甲丸と2年度に実施した検討等。資金製造から、自動の情報で、特別可能の、強化性、機関手に可能のあた。別して高規域を制金金くすべきという者しい意見が相対した。また、甲丸27年 同の間、学校には、特別が高くこの機能の対けのよう。別して高規を制金のなるする中がなられた。	C/4 .	ノた。コ州ルルナス	だしのひょくは、 別回す	を見立い合中内合に対 9	る快証を失応したほか、 利に	. 体情助争未を決引すべる	この日中内台での	ارد،
本本業は、執行機能の過程を設成のために実施するものであるため、菌素、性がらそに思想、理念はない、しかし、甲丸と2年度に実施した検討等。資金製造から、自動の情報で、特別可能の、強化性、機関手に可能のあた。別して高規域を制金金くすべきという者しい意見が相対した。また、甲丸27年 同の間、学校には、特別が高くこの機能の対けのよう。別して高規を制金のなるする中がなられた。	(5) =	の車級車業に対し	.7 関係老(住民	美全 重型対象者 利害	は関係者) からどんた音目が	B 切が客せられているか?		
								施した検討系
また、平成25年底の結合をでは、各種総合にどの影響の影響の指していて、影響するになれた。 「Soo! 2. 評価の部 * 原則は事制性価・								
平成27年末 同定例会で、補給金のありたこかに一般質問が行われた。 19) III O V () III) II ()	7(V 1/C)
30	平原	成27年第1回定例	列会で、補助金のあり	り方について一般質問が	行われた。			
30								
図数数条件との場合性	(See)	2. 評価の部	*原則は事前	评価。				
透しついている 横切舎を審査することにより補助金交付の契当性・公正性が確保される。 ②公共関与の妥当性 (伝せこの事業を布が行わなければならないのか?物金を投入して、達成する目的か?) (法定受料事業はその名称) 市の交付する補助金であり、市で行うのが受当である。 ②国である 市の交付する補助金であり、市で行うのが受当である。 ②成果の向上余地(成果を向上させるとかでは多る。 多組金、菱部料等で内容が補助金のな性質のものについても、審査等を行うことによりさらに成果は上水止の成果への影響 (実践の実践の影響を発展) 「後期の金の妥当性公平性を保っため、例中かに1度の見直しは必要である。 「金属の事業との機能会・連携の可能性 (強い事業や販売合の可能性がありますか? (市以外の取り組みもあり)) 「金属の事業との機能会・選集区の機能会・選集区の機能会・変数を表表の激乳、お案代であり制度できないか?) 「金属を正しない」 「金属の機能を受けることに表しているの。 「金属の事業ではない」 「金属の事業でない 金属の事業を制度できないか? 金属の事業を制度できないか? 金属の事業を制度できないか? 金属を関係に関係の要なを表表の激乳、お案代であり制度できない。 「金属を必要なを表表の激乳、お案代であり制度できないか? 金属を関係を対していて、会が構造・信息があります。 金属の事態にの意はを表表の激乳、お案代であり制度できない。 金属を受けるようないか? 金属を関係の方向性 (文性療計画と多等への反映) 「全の方の事性 (文性療計画と多等への反映) 「全の方の事性 (文性療計画と多等への反映) 「全の方の事態を力の方の性 (文性療計画と多等への反映) 「全の事業を力の方の情を力の表しての対象を力を力が表していてなる。 「金属の事業を力の方の情を力を力が表していてなる。 「金属の事業を力の方の情を力を力が表していてなる。 「金属の事業を力の方向性 (文性療計あり) 「金属の事業を力の方の情を力の表しているの。 「金属の事業を力の方の情を力の表しているの言とになる。 「金属の事業を力の方の情を力を力が表しましている。 「金属の事業を力の方の情を力の表し、 「金属の事業を力のできる 「金属の事業を力の方の情を力の方の情を力を力が表しましている。 「金属の事業を力の方の情を力のなき 「金属の事業を力の方の情を力を力が表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま								
世界の関連性 (なぜこの事業を助行わなければならないのか?報金を含入して、運成する目的か?) (法理委託事業との名称) 中の文付する補助金であり、市で行うのが妥当である。 2 公共関与の受当性 (なぜこの事業をかが行うないのか?) 中の文付する補助金か?競励を表別できるが表現とのできれないか?何が得面で意思は上が場合できないのか?) 日本来がある 「根別の経動な、免別は文付金、合目金、要託料等で内容が補助金的な性質のものについても、審査等を行うことによりさらに成果を向上させることができる。 「お助金の受当性へかせる様力とでは、受力の場合できないのできないのできない。 「本理の表別を表別している。 「本理の表別を表別している。 「本理の表別の事業とその所書はている。 「本理の表別を表別している。 「本理の表別の事業とをのの意味である。 「表別の事業を心解が多さい」 「規算をいる。 「表別の事業を心解が多さない。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を必要が多きまではない。」 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業がありの事態性 (数別を対象を表別の意味できない。) 「表別の事業がありの事態性 (数別を表別の事業を制能できないか?) 「表別の事業がない。 「表別の事業がない。 「表別の事業があり、 「表別の事業があり。 「表別の事業があり、 「表別の事業を制能できないか?) 「表別を表別の事業があり。 「表別の事業を制能できないか?) 「表別を表別の事業を制能を表別の事業を制能できないか?) 「表別を表別の事業を制能を表別の事業を制能できないか?) 「表別を表別の事業を制能を表別の事業を制能を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別できないか?またましまれています。 「本理の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別を表別を表別の事業を表別を表別の事業を表別を表別の事業を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	CX -	様体糸との整合性	E(この事務事業のE	目的は市の政策体系に結びて	つくか?意図することが結果に結	びついているか?)		
世界の関連性 (なぜこの事業を助行わなければならないのか?報金を含入して、運成する目的か?) (法理委託事業との名称) 中の文付する補助金であり、市で行うのが妥当である。 2 公共関与の受当性 (なぜこの事業をかが行うないのか?) 中の文付する補助金か?競励を表別できるが表現とのできれないか?何が得面で意思は上が場合できないのか?) 日本来がある 「根別の経動な、免別は文付金、合目金、要託料等で内容が補助金的な性質のものについても、審査等を行うことによりさらに成果を向上させることができる。 「お助金の受当性へかせる様力とでは、受力の場合できないのできないのできない。 「本理の表別を表別している。 「本理の表別を表別している。 「本理の表別の事業とその所書はている。 「本理の表別を表別している。 「本理の表別の事業とをのの意味である。 「表別の事業を心解が多さい」 「規算をいる。 「表別の事業を心解が多さない。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を必要が多きまではない。」 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業を心解が多さい。 「表別の事業がありの事態性 (数別を対象を表別の意味できない。) 「表別の事業がありの事態性 (数別を表別の事業を制能できないか?) 「表別の事業がない。 「表別の事業がない。 「表別の事業があり、 「表別の事業があり。 「表別の事業があり、 「表別の事業を制能できないか?) 「表別を表別の事業があり。 「表別の事業を制能できないか?) 「表別を表別の事業を制能を表別の事業を制能できないか?) 「表別を表別の事業を制能を表別の事業を制能できないか?) 「表別を表別の事業を制能を表別の事業を制能を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別できないか?またましまれています。 「本理の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別の事業を表別を表別を表別の事業を表別を表別の事業を表別を表別の事業を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	革	バついアハフ	女 サーク 大安さ	トオフーレニトの法明会	カロの変光性 - ハエ性が確に	ナわフ		
西文学の 市の交付する補助金であり、市で行うのが受当である。 国	改	0.701.012		19 るしこにより補助立	文1100安当住• 五正住/5.唯体	(C110)		
西文学の 市の交付する補助金であり、市で行うのが受当である。 国	善 ② 公	#関与の妥当性	(なげこの事業を市)	が行わなければならないの	か?税金を投入して 達成する	目的か?)(法定受託事業は	その名称)	
3 反果の向上から、(成果を向上させる余地はあるの字就面の既休水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が場所できないのか?) 「国上本柱がある」 新規の構造金、名称は文付金、自担金、美託料等で移面が補助金的な性質のものについても、審査等を行うことによりさらに		/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(なことの手来と下)	יייי אטיב טיטוו דירוטילדונו פ	3:初金と良べると、足肉すると	3000: / (囚定又回手来)5	C07 E107	
3 放果の向上条地 (森華を向上させる余地はあるか?成果の損状水準とあるべき水準との差異はないか?何が毎回で成果向上が期待できないのか?) 「肉上条形がある」 成料の内部的金、条料は交付金、会担金、要託料等で内容が補助金的な性質のものについても、審書等を行うことによりさらに成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有量とその内容は?) 「整署有 精助金の妥当性公平性を保つため、何年かに1度の見直しは必要である。 「整理事業との統領名・選集の可能性 (類別・果がなく、統解合はできない) 「毎日子野がある場合」で、異体的な手技・事務事業を制能できないか。 「参野事業・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか?もり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 「中国でいる。「会社の関係に関係の要な委員の諸礼、お茶代であり削減できないか?要替者員臣が公平・公正になっているか?) 「中国でいるでいる」 委員の関係に関係の要な委員の諸礼、お茶代であり削減できないが?要替者員臣が公平・公正になっているか?) 「中国でいるできない」 要は、実践の時間を実施・事務事業を削減できないが?要替者員臣が公平・公正になっているか?) 「中国でいるできない」 要は、大田食田を必要な委員の諸礼、お茶代であり削減できないが?要替者員臣が公平・公正になっているか?) 「中国でいるできない。」 要は、実践の時間・次年度計画と予算への反映 (1)1 次評価をこしての評価秘集 (2) を体制的 (第2) の、反音点 (1) のの研究の限金の民い過をデェックすることは重要であり、補助金の審査にしてなく、市の安いに過をデェックを受けることは乗りてあり、補助金の審査にしてなく。中の長いの税金の民い過をデェックを受けることは重要であり、補助金の審査にしてなく。中の長いの税金の民い過度で市民のチェックを受けることは要求であり、補助金の審査にしてなく。中の長いの税金の民い過度で市民のチェックを受けることは表別でなく。本の受けてなく、市の支はについて、さらに広い範囲で市民のチェックを受けることは表別でなく、本の支はについて、さらに広い範囲で市民のチェックを受けることは表別でなく、本の支はについて、さらに広い範囲で市民のチェックを受けることは表別でなく、本の支はについて、さらに広い範囲で市民のチェックを受けることは表別でなく、本の支に大いの政策を行う回じ、(4) 改革・改善による期待成果 (3) の事務の事題の存置を行う回じにより、(4) 改革・改善による財特成をプロ・カスト 前版 展行・第加 (4) 改革・改善を行う回じにより、(4) 改革・改善により制成金の民に向けでの指摘事項目に向いてきない。 (4) 改革・改善により削減 権行・第加 (4) 対域・対域・大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	う。妥	当である	市の交付する	る補助金であり、市で行	うのが妥当である。			
商上余地がある 新規の補助金 多格は交付金 長担金 要託料等で内容が補助金的な性質のものについても、			(成甲を向しさせて合)	かけなるかり 中田 のほぼっぷ	生となるバキル後との辛田けた!)かの何が原用できます しが	即待できないのかの	
(事務事業を廃止・休止の成果への影響	3 13%	木切凹上水地						
	向	上余地がある			金、委託料等で内容が補助金	的な性質のものについて	も、審査等を行う	ことによりさらに
野芸有	<u> </u>		――	させることかできる。				
類似事業との傾居合・運携の可能性 (類似事業や前居合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) (地に手段がある場合) 類似事業がなく、前保合はできない。 類似事業がなく、前保合はできない。 類似事業がなく、前保合はできない。 類似事業がなく、前保合はできない。 要異す・人件費の削除余比 (成業を下げずに事業質を削除できないか?やり方を工夫して登べ業務事業を削減できないか?) 要は、の間に最低必要な委員の諸礼、お茶代であり削減できない。 ②立を磁性会・費用負担の適正化余比 (事業の内容が一部の受益者に属っていて不公平ではないか?) 受益者負担を求める事業ではない。 ②立を基性を、	④廃」	上・休止の成果^	の影響 (事務事業	を廃止・休止した場合の影	響の有無とその内容は?)			
性	有	ADD 1						
□競災事業との経済会・連携の可能性 (類似事業を)	効影	響有	補助金の妥当	当性公平性を保つため、	何年かに 1 度の見直しは必要	!である。		
(他に手段がある場合)		リ車業との鉢底へ	本体の可能性	(新川市業が体成今の司能)	+がちいますか?(まいりの取り	(知3) た今ま() ()		
療地がない 類似事業がなく、統廃合はできない。 金事業費・人件費の削除永地 (成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 要員会の開催に最低必要な委員の謝礼、お茶代であり削減できない。 要員会の開催に最低必要な委員の謝礼、お茶代であり削減できない。 要員会の開催に最低必要な委員の謝礼、お茶代であり削減できない。 受益権会・費用負担の選正化余地 (李葉の内容が一部の受益者に置っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 受益者負担を求める事業ではない。 受益者負担を求める事業ではない。 では正・公平である 受益者負担を求める事業ではない。 では正・公平である 見直し余地あり (2) 全体総括(振り返り、反省点) 市民目線で、市の協力の税金の使い道をチェックすることは重要であり、補助金の審査だけでなく、市の返出について、さらに広い範囲で市民のチェックを受けることも検討して (3) 今後の事業の方向性 適切 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 別域の書前に 別域の書前に 別域の書前に 別域の書前に 公平性の改善 公本性の改善 公本性の対象を表しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない					まかめりよりか: (1P以外の取り	祖のも占む))		
③事業費・人件費の削除金地 (成果を下げすに事業費を削除できないか?)			3/ 4 5×1+-03/6/3/8/	X				
下の	余	地がない	類似事業がな	なく、統廃合はできない。	0			
下の								
要員会の開催に最低必要な委員の謝礼、お茶代であり削減できない。 ② 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に属っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) ② (イ) 1次評価者としての評価結果 (1) 目的妥当性	⊚事業	業費・人件費の削	除余地(成果を下げ	げずに事業費を削除でき	ないか?やり方を工夫して延	べ業務事業を削減できな	いか?)	
① 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) (ア)		ば会地がない	──	*に見近心亜なまるの謝	カーキサルネキの判録できた	S/ A		
(2) 全体総括 (振り返り、反省点)	性	減赤地グない	女貝	まに取心必安な安良の湖	た。 の余1、このり削減 こさん	.V 1 ₀		
(2) 全体総括 (振り返り、反省点)	⑦受:	益機会・費用負担	日の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に	こ偏っていて不公平ではないか?	受益者負担が公平・公正に	なっているか?)	
(Plan) 3、評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括 (振り返り、反省点) 市民目線で、市の個内の税金の使い道をチェックすることは重要であり、補助金の審査だけでな、市の登出について、さらに広い範囲で市民のチェックを受けることも検討して ② 有効性 ■ 適切 ■ 見直し余地あり 日直し余地あり 見直し余地あり 日的の再設定 □ 効率性の改善 □ 2人下 (複数回答可) 日的の再設定 □ 効率性の改善 □ 2人下 (検験のできる □ 連携ができる □ 2人下 (検験のできる □ 2人下 (株)工・株)工・株)工の場合は記入不要) 日的の再設定 □ 効率性の改善 □ 2人下 (株)工・株)工の場合は記入不要) 日的の再設定 □ 対理性の改善 □ 2人下 (株)工・株)工の場合は記入不要) 日が、大・株)工の場合は記入不要) 日が、大・株)工の場合は記入不要) 日が、大・株)工の場合は記入不要) 日が、大・株)工の場を表達して解決すべきる。 ② 3人工・ (本)工の場を表達して解決すべきる。 ② 3人工・ (本)工の場を表達していまり、ことにより (名) 事務事業優先度評価結果 (金) は、株)工の場に関するとは認及び評価 (課長評価により、C、 D判定及び確認が必要な場合) は、株)工の場に関するとは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、								
(Plan) 3、評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括 (振り返り、反省点) 市民目線で、市の個内の税金の使い道をチェックすることは重要であり、補助金の審査だけでな、市の登出について、さらに広い範囲で市民のチェックを受けることも検討して ② 有効性 ■ 適切 ■ 見直し余地あり 日直し余地あり 見直し余地あり 日的の再設定 □ 効率性の改善 □ 2人下 (複数回答可) 日的の再設定 □ 効率性の改善 □ 2人下 (検験のできる □ 連携ができる □ 2人下 (検験のできる □ 2人下 (株)工・株)工・株)工の場合は記入不要) 日的の再設定 □ 効率性の改善 □ 2人下 (株)工・株)工の場合は記入不要) 日的の再設定 □ 対理性の改善 □ 2人下 (株)工・株)工の場合は記入不要) 日が、大・株)工の場合は記入不要) 日が、大・株)工の場合は記入不要) 日が、大・株)工の場合は記入不要) 日が、大・株)工の場を表達して解決すべきる。 ② 3人工・ (本)工の場を表達して解決すべきる。 ② 3人工・ (本)工の場を表達していまり、ことにより (名) 事務事業優先度評価結果 (金) は、株)工の場に関するとは認及び評価 (課長評価により、C、 D判定及び確認が必要な場合) は、株)工の場に関するとは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	公	正・公平である	受益者負担を	を求める事業ではない。				
(1) 1次評価者としての評価結果		○ 証無針用	の必ばと会然の主点	かん (加生産計画 とる等)	2 0 Em)			
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 □ 見直し余地あり ②効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②見直し余地あり ○ 見直し余地あり ○ 日的の再設定 □ 効率性の改善 □ 公平性の改善 □ 対機構助金に加えて、交付金、負担金、委託料等において性質が補助金に近いものについても、審査等を行うことにより ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				性(次年及計画と予算/) 巨家星)		
①目的妥当性		一人計画もこと	この計画和未				ことけ重要であり	補助全の案本だ
②有効性 □ 適切 □ 見直し余地あり □ 図	①目的	妥当性 ■	適切 口 見					
③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり 日直し余地あり 日直し余地あり 見直し余地あり 日前の再設定 □ 効率性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 対域性の改善 □ 対域性の定面に対域に対域に対域性が可能は対域に対域性が可能は対域性が可能は対域性が可能は対域性が必要な場合) □ 対域性の対域性により、C ・経済、境域性により、C ・経済、境域を対域性により、C ・経済、境域を対域性により、C ・対域に対域性により、C ・対域に対域性により、C ・対域性の対域性により、C ・対域性の対域性の対域性により、C ・対域性の対域性の対域性により、C ・対域性の対域性の対域性の対域性の対域性の対域性により、C ・経統性の対域性の対域性の対域性の対域性の対域性の対域性の対域性の対域性の対域性の対域							,,	occolonio c
(3) 今後の事業の方向性 (複数回答可)		_						
2 2 2 2 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4	④公平	性	適切 □ 見	直し余地あり				
2 2 2 2 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4	(0)	※ の声器 のナウリ	+					
終了	(3) ライ	皮の手業の方向性	±		(海粉同答司)		(4)改革•改	善による期待成果
一角が上の改善		終了 ■ 繰	続 — → ■ 改善2	☆善を行う──		効率性の改善)	(終了・廃止・休)	止の場合は記入不要)
□ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 □ 統廃合ができる □ 連携ができる □ 車携ができる □ 車機が ■ ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	"	小で コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	mvu 国 以半り					コスト
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新規補助金に加えて、交付金、負担金、委託料等において性質が補助金に近いものについても、審査等を行うことにより さらに成果を向上させることができる。 【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 企業表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		廃止 □休.	止	_			削減	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新規補助金に加えて、交付金、負担金、委託料等において性質が補助金に近いものについても、審査等を行うことにより さらに成果を向上させることができる。 (6)事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 成果優先度評価結果 (1)課長評価 (2)部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 (2)部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) なんに表している。 (3) おいます。 (4) はにはいる。 (5) はにはいる。 (6) を表す。 (7) を表す。 (7) を表す。 (7) を表す。 (8) が必要な場合)							向	
さらに成果を向上させることができる。 果 持 低 下 【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)								
(6) 事務事業優先度評価結果 (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 (7) 課長評価 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) (3) 部長確認後の評価 (4) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)				料等において性質が補助	か金に近いものについても、	審査等を行うことにより	成 維	
(6) 事務事業優先度評価結果 (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 成果優先度評価結果 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) (3) 部長確認後の評価 (4) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	さりに放	未な凹上させる	ここかできる。					+
成果優先度評価結果 8								X X
成果優先度評価結果 8								
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 確認欄 B A: 継続(現状維持) C:終了、廃止、休止							(6)事務事業優	夏先度評価結果
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 確認欄 B A: 継続(現状維持) C:終了、廃止、休止							成果優先度評価約	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 確認欄 R A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止	T O: :	1 4 Tm===	フドフケサフケギ / (一) (二)	の比較市内			//////////////////////////////////////	
課長確認後の評価 確認欄 R A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 では R A: を R			ひ以手以善に同けて	.の指摘事項	(つ) 郭匡確認成び調	あ (理集証価により)の) 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が必要を担合し
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日						■ (本文o十回にみり、(ことはなる場合)
B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 C:終了、廃止、休止	課長確	認後の評価			確認欄			
B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 L L	R			C:終了、廃止、休止				
		B:継続(d	改革改善を行う)	D:2次評価へ提出				